



日	月	火	水	木	金	土
2月よりお帰りのチャイムは5時になります。			1	2	3 おもちゃ病院	4 卓球大会
5 絵画教室	6 休館	7	8	9	10	11 建国記念の日 読み聞かせ 燃えろ!卓球
12 誕生日会	13 休館	14	15	16	17	18 おやつ作り
19 手話クラブ	20 休館	21	22	23	24	25 ひな人形作り
26 絵画教室	27 休館	28	 かぜをひかないでね!			

わくわくサタデー

	日時	内容
卓球大会	4日 午後2時～	練習の成果も上がり上手になりました。 多くの参加待ってます。
読み聞かせ	11日 午後2時～	神谷さん、林さんによる朗読です。 聴く・想像するといった事が自然に身につきます。
おやつ作り	18日 午後2時～	かわりパイを作ります。アップル?バナナ?パンプキン? おたのしみに! 材料費100円 定員15名
ひな人形作り	25日 午後2時～	かわいいひな人形を作ります。 定員15名

～日曜日のお知らせ～

絵画教室 5日・26日(日)午後1時～3時
講師: 山口 昭雄先生※講師の都合で変更となる場合があります

手話クラブ 19日(日)午前11時～12時
講師: 職員 小木曾 くみ子 (自由参加)

2月の誕生日会
12日(日)午前10時30分～
2月生まれのお友だちをみんなで祝いましょう!



【節分一口メモ】

炒った豆を使うのはなぜかな?

生の豆を使って拾い忘れたものから芽が出ると再び悪鬼が芽を出してやってくるので良くないといわれているからです。

どうして巻きすしをまるかじりするのかな?

巻き寿司を使うのは「福を巻き込む」からで、切らないのは「縁を切らないために」といわれています。

どうして鰯の頭を柊木にさすのかな?

鬼の嫌がる鰯の臭いと、柊の葉の棘に痛がって、鬼が近寄らないので鬼門封じや厄除けになると昔から言い伝えられています。

■豆まき

豆を撒く風習は、鬼の目を打ち、「魔を滅する」に通じるからという説があります。炒った豆を、年男や一家の主人、厄年の人が「鬼は外、福は内」と大声で叫びながら豆を撒き、邪気や災厄を祓います。

炒った豆を使うのは、生豆を使って拾い忘れたものから芽が出ると再び悪鬼が芽を出してやってくるので良くないといわれているからです。

豆撒き後は、自分の年の数、または自分の年の数+1の豆を食べ、一年の無病息災を願います。

■鯛の頭と柗木

鯛を焼いた時の煙と臭いが厄を祓うといわれ、節分の日には家の入口に鯛の頭を柗の枝にさしておく風習があります。

鬼の嫌がる鯛の臭いと、柗の葉の棘に痛がって、鬼が近寄らないので鬼門封じや厄除けになると昔から言い伝えられています。地域によっては、にんにくやとべらなどの臭いのあるものをそえるところもあるようです。

■巻き寿司のまるかじり

関西を中心に、その年の恵方(年神様のいらっしゃる吉の方角)に向かって無言で太巻き寿司を丸かぶりし、新しい年が良い年でありますようにと願いながら食べるという風習があります。

巻き寿司を使うのは「福を巻き込む」からで、切らないのは「縁を切らないために」といわれています